

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学消化器内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年5月 福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 講座主任  
大平 弘正

【研究課題名】

肝悪性腫瘍に対する肝動脈化学塞栓療法の有効性、予後についての後ろ向き検討

【研究期間】

2019年5月～2024年4月

【研究の意義・目的】

肝細胞癌は本邦で主要な悪性新生物のひとつであり、治療法の改善が重要な疾患です。肝動脈化学塞栓療法(transcatheter arterial chemoembolization: TACE)は切除不能肝細胞癌に対する有効な治療法であり、本邦では肝細胞癌に対する初回の治療として30%の患者へTACEが実施されています。肝細胞癌に対する治療法はTACEだけではなく、ラジオ波焼灼術、肝切除術、肝移植術、全身化学療法などの方法があります。また、TACEの方法も従来のゼラチンスポンジ及び抗がん剤とLipiodol混合物によるconventional TACEに加えて、ビーズを用いたdrug-eluting beads TACE、バルーンによる塞栓を併用したballoon-occluded TACEといった新しい方法が本邦でも実施可能となっています。

しかし、どのような肝細胞癌患者に対してTACEがより有効であるか、どのようなTACEの方法が有効であるかはいまだ明らかでない点もあります。本研究の目的は、当科でTACEにより治療された肝悪性腫瘍患者について背景、治療法、治療効果、安全性そして予後を解析することで、肝悪性腫瘍患者に対するTACEの有効性や治療反応性や予後の予測因子を明らかにし、より適切なTACEの適応を解明することです。

【研究の方法】

2003年1月から2018年12月に福島県立医科大学附属病院消化器内科で肝悪性腫瘍に対してTACEにより加療された患者の医療情報を参照し、その関係性を解析します。

- 年齢、性別、身長、体重、パフォーマンスステータス、肝予備能
- 治療時、及びその後の血液学、生化学検査結果、画像所見
- TACEの治療内容、安全性、治療効果
- 患者の生存期間と肝癌及び肝不全に関連した症状の発症について

【研究組織】

(所属) 消化器内科学講座	(職) 教授	(氏名) 大平弘正
(所属) 消化器内科学講座	(職) 准教授	(氏名) 高橋敦史
(所属) 消化器内科学講座	(職) 講師	(氏名) 阿部和道
(所属) 消化器内科学講座	(職) 助教	(氏名) 岡井研
(所属) 消化器内科学講座	(職) 助手	(氏名) 林学
(所属) 消化器内科学講座	(職) 助手	(氏名) 藤田将史

【他の機関等への試料等の提供について】

提供はありません。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利

用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書を交付しますが、交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

**【本研究に関する問い合わせ先】**

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

**【試料・情報の利用を望まれない場合の問い合わせ先】**

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 担当 林学

電話:024-547-1202 FAX: 024-547-2055

E-mail:m884884@fmu.ac.jp